

教育委員会だより

Karuizawa Board of Education Newsletter

8月定例教育委員会

8月の定例教育委員会が27日に開催されました。
事務局より次の案件を提出し、審議されました。

【審議事項】

- ①重要文化財旧三笠ホテル条例の施行期日を定める規則の付議について
- ②各種行事への後援等について
- ③令和7年度要保護標準要保護児童生徒の援助費認定について

教育委員紹介

議会定例会9月会議において、議会の同意が得られ、教育委員の任命となりました。

委員 大藤敏行 氏

任期 令和7年10月1日から
令和11年9月30日まで



児童手当を指定口座に振り込みます

8月分から9月分までの児童手当を10月10日(金)に振り込みます。
受給者の方は入金を確認してください。

【問い合わせ】

子ども教育課 児童係 ☎45 8 6 7 2

こころば



スクールサポーター
(臨床心理士・公認心理師)
小林 貴理

軽井沢オープンドア スクール(仮称)

これまでの「こころば」のこのころのコーポレーションでも8月号で「夜間中学、9月号で「学びの多様な学校」について紹介してきました。いずれの学びの場も「学校」という形態をとりながらも、生徒が学校に合致するのではなく、学校が生徒一人ひとりのニーズに合わせながら学びに触れたり、広めたり、深めたりするようなインクルーシブでフレキシブルな学びの場を、みんながつくっていくこととなります。知識の習得はもちろんだ大事ですが、自分たちで学び取っていくために一方的な座学だけではなく、軽井沢の自然や文化など町の資源と関わりながら、部分的には教科の枠を超えて体験的・探究的に学んでいくことを大切にしていきたいです。

「学びの多様な学校」は中学校として設置されるため、対象者は不登校状態または不登校傾向にある中学生となります。「不登校状態」とは、文部科学省の定義する「病気や経済的理由を除き、年間30日以上欠席」を目安として学校に足が向かなかったり、教育支援センターやフリースクールなどに通っているような状態を指しています。また「不登校傾向」とは、別室登校や登校渋りをしている中学生を指しています。一方、「夜間中学」は、中学生という学齢の時(13歳から15歳)に、戦争であつたり家庭の事情などで中学に通うことができなかった方、不登校や病気などで中学での学びが十分にできなかった方(「通えなかったけど、卒業はした」方を「形式卒業者」と言います)、本国において義務教育を修了していない外国籍の方など、学び直しをするための年齢も国籍も幅広く多様性に富んだ方々を対象としています。

この二つの学校の共通しているところは最初に記した通りですが、特に生徒のありのままを受け入れ、ここに通う生徒が自分らしさを発揮しながら学びを進めることができることに、「学びの多様な学校」と「夜間中学」が併設される「軽井沢オープンドアスクール(仮称)」の意味があります。「こころば」という願いの方にこの学校がしっかりと届き、それぞれの将来につながっていくために、いろいろな方々の意見や設置準備委員会での意見を大切にしながら、いい学校をつくり上げていきます。

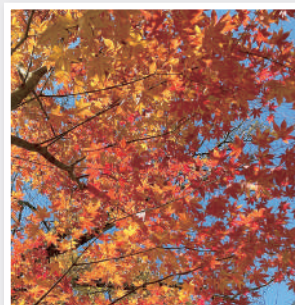
まだまだ「で、どんな学校なの?」「具体的に何をやるの?」「どうしたら通えるの?」など、疑問に思うことや知りたいたことはたくさんあるのではないかと、思います。町のホームページにも、これまでの経過やいたいた意見などが掲載されています。「自分には関係ないかな」と思っている方も、もしかしたら「町の資源」として何かを伝える立場になることもあるかもしれません。様々な立場の理解を深め、町の教育をみんながよくしていけるといいですね。



過去の「こころば」は町ホームページからご覧になれます。

軽井沢の植物と 方言 103

葉は黄色から紅色に
色づきます
オオモミジ(大紅葉)



町内の山野の林等に生え、北海道、本州、四国、九州に分布する日本に固有な落葉小高木または高木です。10月中旬から下旬頃、その葉が黄色から紅色に色づく様子が見られます。

なお、モミジの名前はイロハモミジの別名で、紅葉が他よりも優れていることに由来するそうです。

方言と由来等

①モミジ

本植物のほか、ヤマモミジ等も同じくよばれています。

【参考文献】佐藤邦雄(1978) 信州佐久の植物方言

【問い合わせ】

植物園 ☎48 3 3 3 7